

令和3年度(2021年度)

管理事業名	図書館事業			総合計画の体系	大綱 4 子育て・学び 政策 4 生涯にわたり学べるまちづくり 施策 2 生涯学習環境の整備
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費 (目) 4 図書館費
部局名	地域教育部	予算執行所属	中央図書館		
予算大事業名 図書館事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費 (項)社会教育費 (目)北千里小学校跡地複合施設建設費 図書館事業				
事業の目的と概要 図書館法第2条に基づき図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション、視聴覚教育等に資することを目的とします。 中央図書館と7つの地域館と2つの分室で事業を実施しています。多様化する市民一人一人の生涯学習を支援し、教養や文化に資することにより教育活動の充実を図ります。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
貸出点数	点	3,294,311	2,559,423	3,693,591	図書館で貸出された資料の点数 (個人貸出、団体貸出、広域貸出を含む)
予約受付件数 〔 〕内はWEBでの予約受付	件	1,091,150 [868,548]	1,130,473 [974,507]	1,421,227 [1,205,269]	図書館で受け付けた予約(リクエスト)の件数
成果の説明	・「吹田市立図書館基本構想」を策定し、計画的に事業を実施しています。 ・緊急事態宣言の発令により休館した期間もありましたが、拡大防止策を講じながら、市内の全図書館の通常開館を継続したため、令和2年度より貸出点数が約1,134,000点増加しました。予約受付件数についても、WEBでの予約受付が約230,000件増加し、予約受付件数全体では約290,000件増加しました。 ・令和3年度は、来館を必要としない図書館サービスの提供に努め、予約受付件数のうち、インターネットによる受付件数が予約受付開始以来、初めて100万件を超えました。令和3年7月からは電子書籍を導入し、貸出を開始しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	205	38	106	68
府支出金(経常費用充当)	35,611	36,019	53	△35,966
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,412	2,034	1,789	△244
経常収入 小計(a)	37,228	38,091	1,948	△36,142
給与関係費	444,981	470,416	483,564	13,148
物件費	503,416	632,640	686,406	53,765
維持補修費	3,407	126,788	4,167	△122,621
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	12,704	10,679	11,672	994
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	135,415	173,349	197,097	23,748
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	29,644	32,209	28,251	△3,959
退職手当引当金繰入額	738	34,020	11,829	△22,191
支払利息	15,069	13,797	14,711	914
その他	36,480	29,529	30,221	691
経常費用 小計(b)	1,181,855	1,523,428	1,467,918	△55,510
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△1,144,627	△1,485,337	△1,465,970	19,367
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	2,859	15,997	161,106	145,109
特別収入 小計(d)	2,859	15,997	161,106	145,109
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	4,249	796	5,029	4,233
特別支出 小計(e)	4,249	796	5,029	4,233
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△1,390	15,201	156,077	140,877
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△1,146,017	△1,470,136	△1,309,892	160,244
一般財源充当額	1,391,000	1,991,750	1,548,627	△443,122
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	244,982	521,614	238,735	△282,878

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	電信料(電子書籍コンテンツ費)115,940千円の増 健都ライブラリー整備に係る備品購入費50,588千円の減 江坂図書館委託料5,394千円の減等
維持補修費	中央図書館耐震補強等改修工事に係る工事請負費113,569千円の減等
特別収入 その他	北千里小学校跡地複合施設整備に係る都市構造再編集集中支援事業補助金154,836千円の増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	37,173	38,121	1,948	△36,173
行政サービス活動支出	1,037,085	1,312,827	1,256,447	△56,380
行政サービス活動収支差額	△999,911	△1,274,706	△1,254,499	20,208
投資活動収入	-	163,328	154,836	△8,492
投資活動支出	580,335	1,355,905	288,378	△1,067,528
投資活動収支差額	△580,335	△1,192,577	△133,542	1,059,034
財務活動収入	379,200	672,300	60,100	△612,200
財務活動支出	189,953	196,766	220,687	23,920
財務活動収支差額	189,247	475,534	△160,587	△636,120
収支差額 合計	△1,391,000	△1,991,750	△1,548,627	443,122
一般財源充当額	1,391,000	1,991,750	1,548,627	△443,122
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出)(仮称)健都ライブラリー整備、中央図書館耐震補強等改修工事1,289,107千円の減、北千里小学校跡地複合施設整備219,793千円の増
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
貸出1点あたりコスト	令和元年度	3,294,311 点	359 円	貸出1点あたりのコストが前年度に比べ207円減少している理由は、貸出点数が増加したためと、中央図書館耐震補強等改修工事及び(仮称)健都ライブラリー整備関係費の経費が減少したためです。
	令和2年度	2,559,423 点	595 円	
	令和3年度	3,693,591 点	388 円	
予約1件あたりコスト	令和元年度	1,091,150 件	1,083 円	予約1件あたりのコストが前年度に比べ341円減少している理由は、予約件数が増加したためと、中央図書館耐震補強等改修工事及び(仮称)健都ライブラリー整備関係費の経費が減少したためです。
	令和2年度	1,130,473 件	1,348 円	
	令和3年度	1,421,227 件	1,007 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	252,896	291,981	39,085
未収金	-	-	-	地方債	119,802	162,846	43,043
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	32,209	28,251	△3,959
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	66,524	66,524	-
有形固定資産	4,459,595	4,485,851	26,256	その他流動負債	34,360	34,360	-
土地	750,514	750,514	-	固定負債	2,217,434	2,001,916	△215,518
建物・工作物	3,391,873	3,266,078	△125,595	地方債	1,331,206	1,228,460	△102,746
リース資産	315,989	249,465	△66,524	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	1,419	219,793	218,374	退職手当引当金	293,160	281,272	△11,888
無形固定資産	1,459	1,459	-	リース債務	249,465	182,941	△66,524
インフラ資産	-	-	-	その他固定負債	343,603	309,243	△34,360
土地	-	-	-	負債の部合計	2,470,330	2,293,897	△176,433
建物・工作物	-	-	-	純資産	4,431,803	4,670,538	238,735
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	92,849	99,824	6,975
重要物品	92,849	99,824	6,975	図書館資料	2,348,230	2,377,301	29,071
図書館資料	2,348,230	2,377,301	29,071	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	6,902,133	6,964,435	62,302
資産の部合計	6,902,133	6,964,435	62,302	負債及び純資産の部合計	6,902,133	6,964,435	62,302

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

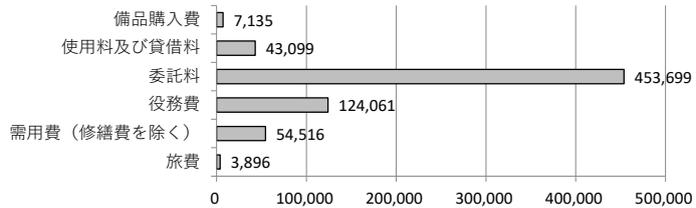
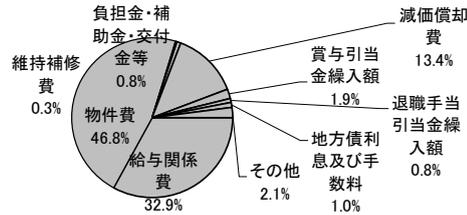
事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
事業従事人数	48.5人	7747日	28日	523,645
給与関係費等	351,569千円	171,841千円	235千円	
内、時間外勤務手当	6,029千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	健都ライブラリー道路案内標識建設仮勘定清算により1,419千円の増、既存館の減価償却により127,014千円の減
リース資産	図書館システムのリース資産に係る債務の返済により66,524千円の減
図書館資料	貸出閲覧用資料の購入等により29,071千円の増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立中央図書館ほか9施設
取得年月日	昭和46年(1971年)10月1日ほか
建物・工作物の取得価額	4,783,435千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,517,356千円
利用料金収入	-千円

▽分析指標

分析指標	(単位:%)			
	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率	0.1	2.7	0.1	△2.6
施設老朽化比率	42.3	29.1	31.7	2.6
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	77.0	69.5	87.7	18.2
経常費用対公共資産比率	38.7	31.9	30.7	△1.2

[参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%]

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業にかかるコスト全体の46.8%が物件費で、そのうち委託料が最も多く、66.0%を占めています。委託料の内訳の主なものは、窓口等業務のほか、清掃・警備等の施設管理業務です。物件費のうち、委託料に次いで多いものは役務費で、物件費の18.0%を占めており、令和3年度の役務費が多くなった理由は、電子書籍を導入し、その書籍点数を拡充したためです。市内の図書館の施設老朽化率は、健都ライブラリー建設工事と中央図書館耐震補強等改修工事の完了に伴い、令和元年度42.3%から令和2年度29.1%と低くなりました。その後、1年経過して令和3年度は31.7%とやや高くなりましたが、市保有全体の老朽化比率57.6%よりも低い状態です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業コストのほとんどが窓口等業務委託料を含む人的経費です。369万円を超える貸出に係る業務、142万円を超える予約受付に係る業務、読書活動推進に係る業務、資料の調査相談など、図書館サービスに必要な経費であると判断しています。社会教育施設として、市民の様々な世代に対応した学びの場を提供できるよう、引き続き来館を必要としない図書館サービスを提供するとともに、幅広く講座・行事等を開催し、図書館サービスの充実に努めます。また、今後の施設整備関係につきましては、北千里分室は「北千里小学校跡地複合施設建設整備基本計画」に基づき、狭あい及び老朽化を解消するため、令和4年度閉館を目指し、整備を進めています。江坂図書館については、「江坂公園の魅力向上事業」において、令和4年度以降に狭あいを解消し、施設の改修を行う取組みを進めています。